

【くまもと】求人情報誌、ゴルフ場事業を展開している熊本市の㈱雇用促進事業会は、山鹿市と養蚕業に参入する協定を熊本県庁で結んだ。かつて栄えた養蚕事業を最新の技術を取り入れて復活させ、5年後には年間50トの繭生産を計画。国内では最大規模の産地づくりを目指す。

生産する。新規雇用を5年後に100人に増やす。最大の産地である群馬県の57トに並ぶ生産を目指す。

需要開拓では、産学官で連携した再生医療技術の導入や健康食材なども手掛け、海外の有名ブランドへも売り込む構想だ。3年をめどに年商10億円を見込む。

島田俊郎社長は「かつての山鹿の養蚕業を復活させ、産業に育てていきたい。一企業では最大級の規模になる」と話す。

山鹿市は、熊本の近代蚕糸業の開祖で、「養蚕富国論」を提唱した長野藩平の出身地。現在、県内の養蚕農家は5戸。

秋作バレイシヨ 出番

長崎・JA島原雲仙「新デジマ」7%増
大雲 仙部 会

【長崎・島原雲仙】秋作バレイシヨの出荷が始まるのを待ち、JA島原雲仙の大雲仙は、いよいよ部会は、南島原市加津佐町で2014年産秋・新ばれいしよ出荷協議会を開いた。生育状況や出荷計画などを検討した。

JA南部基幹営農センターが圃場(ほじょう)、植え付け日、掘り取り日などを管理して栽培する独自のブランド「新デジマ」は、

今年、前年比7.2%増の158.4トの出荷を計画。それ以外に秋作300ト(前年比14.6%増)、越年もの1550ト(同0.5%減)を出荷する計画だ。

「新デジマ」は、センターが1980年ごろから取り組んでいる。みずみずしさや調理した時のほくほく感に加え、1月に掘り取り出荷する新春の食材として、市場からの

引き合いもある。今年産の秋作の植え付けは8月20日すぎからで、適度な降雨もありおむね順調に進んだ。台風通過はあったものの大きな被害はなく平年並みに生育した。「新デジマ」は、定期的な圃場の巡回を行い生育を管理した。会議には、農家、JA、市場などの110人が参加。連携を取りながら情報共有を図り、有利

販売につなげようと、①生育状況②出荷計画③出荷要領、規格④受け入れ日などを検討した。松坂興志部会長は「販売環境など情勢は厳しいが、高値で販売できるように頑張るって良品を出荷しよう。市場には、農家の努力が報われるような取引をお願いしたい」とあいさつした。

農家経営診断士能力向上へ研修
JA熊本中央会など
【熊本】JA熊本中央会と連合会営農生活センターは4日、合志市で2014年度農家経営総合診断士フォローアップ研修会「写真」を開いた。JA茨城中央会を退職後、茨城県で農業経営管



掛け、集約した。義援金は3JA(滋賀県・グリーン近江、グリーン大阪、グリーン鹿児島)分を集計し、JAグリーン長野に届ける。

2014年3月、全国にある「グリーン」と名「ワノコイン募金」で集まった義援金を手にする川元組合長(左)

グリーン鹿児島など▶グリーン
JA交流を基に
き、全役職員が復興への願いを込めて募金した。JAグリーン鹿児島の川元昭司組合長は「これから本格的な冬を迎える中、ご苦労も多いと思う。地域のJAとして、農家や組合員の方々のために役立ててほしい」と話した。(グリーン鹿児島)

九州 KYUSYU

- 情報連絡は支所またはJA中央会へ
- 九州支所
福岡市中央区天神4-5-23
JA全農ふくれんビル3階
☎092(761)6355
ファクス 092(781)3818
- JA福岡中央会 ☎092(711)3911
 - JA佐賀中央会 ☎0952(25)5112
 - JA長崎県中央会 ☎095(820)2010
 - JA熊本中央会 ☎096(328)1016
 - JA大分中央会 ☎097(538)6370
 - JA宮崎中央会 ☎0985(31)2043
 - JA鹿児島県中央会 ☎099(258)5141
 - JAおきなわ ☎098(831)5555



理支援事業を行う農業経営支援研究所の木下徹代表を講師に、経営支援の必要性と農家経営改善の個別指導を行う上で必要な知識を学んだ。

県内JAの農家経営総合改善を図ることと、JAの経営に寄与することが経営支援の目的である」と経営支援の必要性を話した。

JA熊本中央会は、04年度から、能力向上と現場での課題解決方法の習得を目的に、農家経営改善の個別指導ができる職員の養成に力を入れている。これまでに180人が資格を取得している。

バレイショ 出荷

A島原雲仙「新デジマ」7%増 仙部会

秋作 今年、前年比7・2%増
引き合いもある。

が始ま 今年産の秋作の植え付
の158・4トの出荷を
計画。それ以外に秋作3
島原雲 00ト(前年比14・6%
しよ部 増)、越年もの1550
津佐町 増(同0・5%減)を出
・新ば 荷する計画だ。

出荷計 「新デジマ」は、センタ
。 ーが1980年ごろから
農セン 取り組んでいる。みずみ
よう、 ずしさや調理した時のほ
取り日 くほく感に加え、1月に
る独自 掘り取り出荷する新春の
マ」は、 食材として、市場からの

販売につなげようと、①
生育状況②出荷計画③出
荷要領、規格④受け入れ
日——などを検討した。
松坂興志部会長は「販
売環境など情勢は厳しい

農家経営診断士 能力向上へ研修

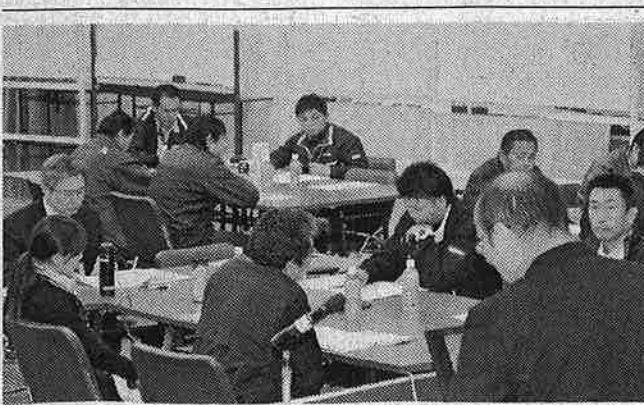
J A熊本中央会など
【熊本】 J A熊本中央
会と連合会営農生活セン
ターは4日、合志市で2
014年度農家経営総合
診断士フォローアップ研
修会Ⅱ写真Ⅱを開いた。

J A茨城中央会を退職
後、茨城県で農業経営管

が、高値で販売できるよ
うに頑張って良品を出荷
しよう。市場には、農家
の努力が報われるような
取引をお願いしたい」と
あいさつした。

理支援事業を行う農業経
営支援研究所の木下徹代
表を講師に、経営支援の
必要性和農家経営改善の
個別指導を行う上で必要
な知識を学んだ。

県内J Aの農家経営総



合診断士の有資格者と農
家経営安定指導支援事業
の実務担当者、営農指導
員に加え、福岡県と鹿児
島県中央会からも参加
し、約60人が研修を受け
た。

木下氏は、もうけたお
金の使い道までを指導す
るのが経営支援であると
した上で「農家の主体性
を喚起させるコミュニケ
ーション能力で農家の経
営改善を図ることと、J
Aの経営に寄与すること
が経営支援の目的であ
る」と経営支援の必要性
を話した。

J A熊本中央会は、04
年度から、能力向上と現
場での課題解決方法の習
得を目的に、農家経営改
善の個別指導ができる職
員の養成に力を入れている。
これまでに180人
が資格を取得している。

情報連絡は支所また
はJ A中央会へ

九州支所

福岡市中央区天神4
-5-23
J A全農ふくれんビ
ル3階
☎092(761)6355
ファクス
092(781)3818

- J A福岡中央会
☎092(711)3911
- J A佐賀中央会
☎0952(25)5112
- J A長崎県中央会
☎095(820)2010
- J A熊本中央会
☎096(328)1016
- J A大分中央会
☎097(538)6370
- J A宮崎中央会
☎0985(31)2043
- J A鹿児島県中央会
☎099(258)5141
- J Aおきなわ
☎098(831)5555